

平成21年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

1目 河川総務費

河川課(内線:7374)

2目 河川改良費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 地域自立・活性化交付金事業	240,644	0	240,644	102,961	<12,000> 12,000		125,683	県費負担 137,683
地域自立・活性化交付金事業 (塩分導入実証試験) (河川課所管)	20,644	0	20,644	5,611			15,033	
地域自立・活性化交付金事業 (河川課所管) [一般公共事業]	220,000	0	220,000	97,350	<12,000> 12,000		110,650	県費負担 122,650
トータルコスト	264,699千円(前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員:3.7人							
主な業務内容	関係機関との調整、設計積算、契約の締結							

事業内容の説明

1 事業の目的・背景

親水護岸整備や覆砂、へドロ浚渫により、景観の改善や水質浄化を図り、良好な河川環境を確保し、地域の活性化に寄与する。

また、湖山池においては「汽水湖としての再生」と「豊かな生態系回復」を目的に、引き続き塩分導入実証試験を実施する。

2 事業の内容

(1) 湖山池(5月補正で単県事業から事業替)

○塩分導入実証試験

- 湖山池の塩素イオン濃度等を観測しながら湖山水門の適切な操作を行い、池内の塩素イオン濃度を所定の値で管理する。
- 湖山池から取水している砂丘畑(湖東大浜土地改良区)に代替農業用水を送水する。

○景観改善と親水性を高めるため、親水護岸の詳細設計及び護岸工を実施。

(2) 東郷池

○水質浄化を図るため、水深3.5m以上の区域に北条川放水路からの残土(砂)による覆砂を実施。

(3) 斐伊川水系加茂川(5月補正で単県事業から事業替)

○河口から米子コンベンションセンターまでの間のへドロ浚渫を実施し、悪臭防止と景観改善を図る。

事業費内訳(箇所別)

箇所	施工年度	H21事業費 (千円)	備考
湖山池	H20~H23	50,644	・塩分導入実証試験(20,644千円) ・親水護岸(30,000千円)
東郷池	H21~H22	100,000	・覆砂
斐伊川水系 加茂川	H20~H22	90,000	・へドロ浚渫
計		240,644	

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。